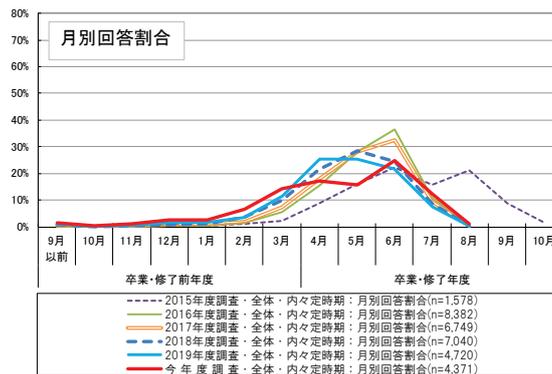


内々定を受けた時期

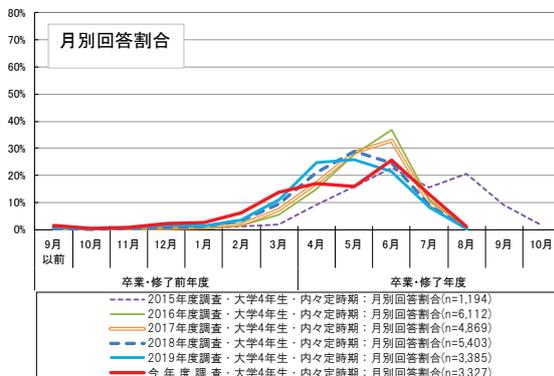
最初に内々定を受けた時期は、採用選考活動開始時期である6月の回答割合が約2割と最も高くなっている。過年度に比べ、4～5月の回答割合が低下している。

就職予定の企業からの内々定の時期を、その企業に対する志望度別に集計すると、いずれの場合も、採用選考活動開始時期である6月の回答割合が最も高くなっている。

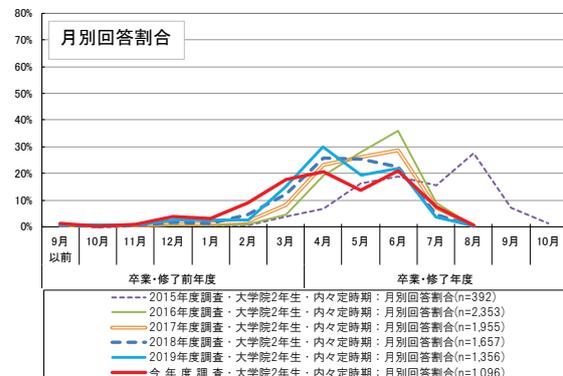
(大学4年生・大学院2年生、最初の内々定の時期の比較)



(大学4年生、最初の内々定の時期の比較)



(大学院2年生、最初の内々定の時期の比較)



(注1) 内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

(注2) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。

(注3) 「最初に内々定を受けた時期」は、1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。

(注4) 「就職予定の企業からの内々定の時期」は、1社から内々定を受けた者はその企業に就職予定であると回答した場合、及び、複数社から内々定を受けた者は就職予定の企業に関して、内々定を受けた時期に関する回答結果を集計した。

(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.1%	0.2%	0.6%	0.4%	0.9%	2.4%	2.5%	6.7%	14.3%	17.3%	15.5%	24.9%	12.4%	1.1%
累積割合	0.7%	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%	2.9%	5.3%	7.8%	14.5%	28.7%	46.0%	61.6%	86.5%	98.9%	100.0%

(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.2%	0.1%	0.5%	0.5%	0.9%	2.2%	2.4%	6.3%	13.7%	16.8%	15.8%	25.5%	13.1%	1.2%
累積割合	0.7%	0.9%	1.0%	1.5%	2.0%	2.9%	5.1%	7.5%	13.9%	27.6%	44.4%	60.2%	85.7%	98.8%	100.0%

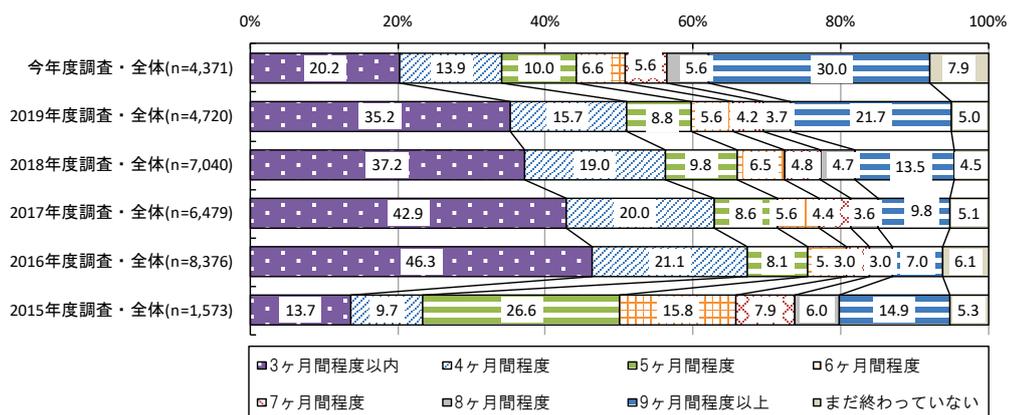
(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.0%	0.4%	0.6%	0.2%	1.1%	3.8%	3.1%	8.9%	17.9%	20.8%	13.7%	21.0%	7.5%	0.5%
累積割合	0.4%	0.4%	0.8%	1.4%	1.6%	2.7%	6.6%	9.7%	18.6%	36.5%	57.2%	70.9%	91.9%	99.5%	100.0%

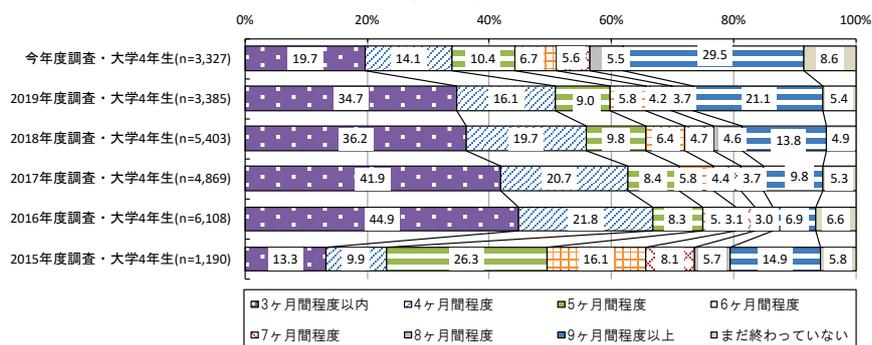
就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職活動の始まりから終わりまでの期間について、「9ヶ月間程度以上」の回答割合が最も高く、約3割となっている。2016年度～2019年度と比較すると、「3ヶ月間程度以内」の割合は低下しており、採用選考活動開始時期が卒業・修了年度の8月とされていた2015年度と比べても、より長い期間就職活動を行っていた傾向がみられる。

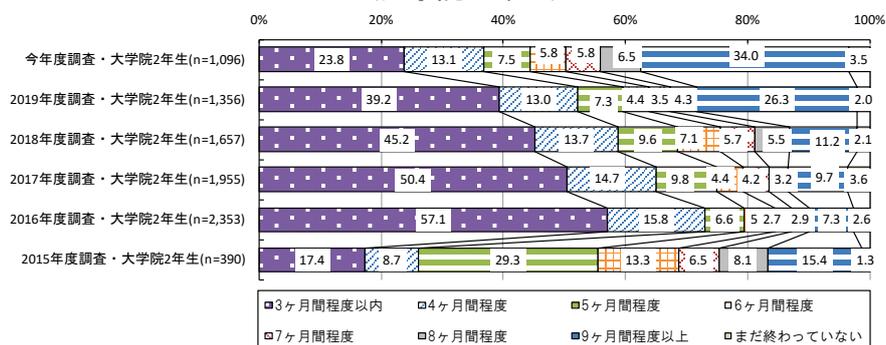
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



(注1) 公務員や教職員志望者は除いて集計した。

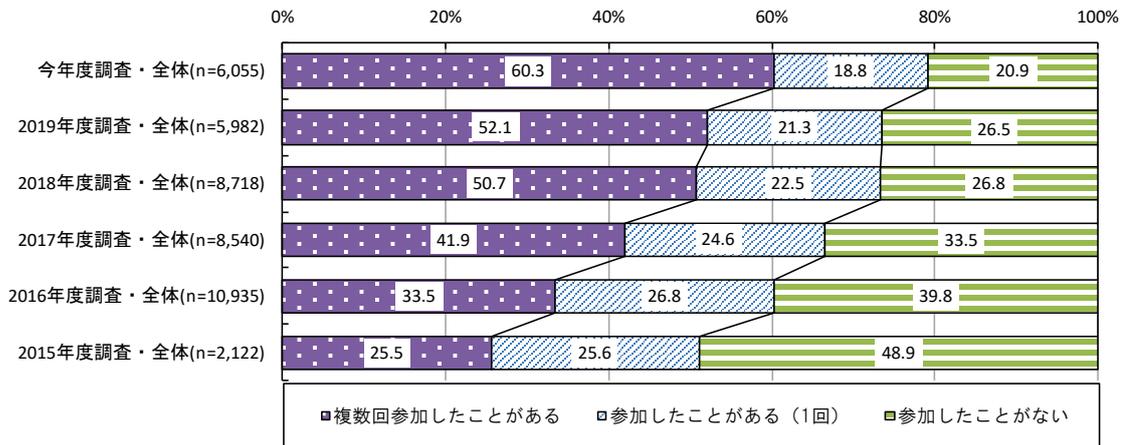
(注2) 「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間を集計しており、例えば始まったと考える時期を「3月」、終わったと考える時期を「6月」と回答した場合は、「3ヶ月間程度」として集計している。

(注3) 「始まったと考える時期」「終わったと考える時期」ともに、2015年度～2018年度の調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019年度調査と今年度調査では卒業・修了前年度の「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。比較を行う上では、分類がそろうように再集計をしている。

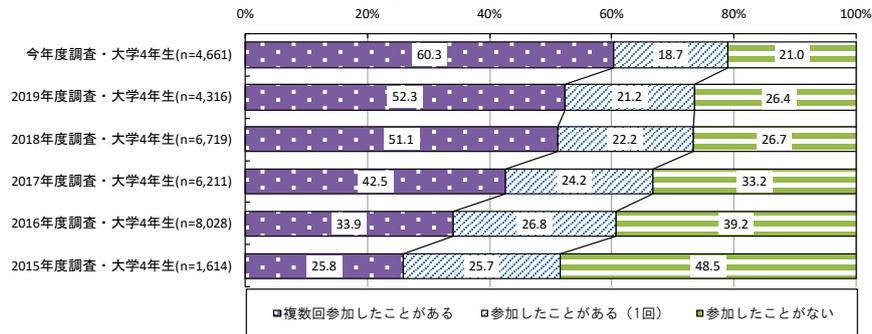
インターンシップ参加経験の有無

インターンシップの参加経験について、約8割が「複数回」又は「1回」参加したことがあると回答している。2015年度以降、この割合は上昇傾向にあるが、今年度は特に「複数回参加したことがある」と回答した割合が高くなっている。

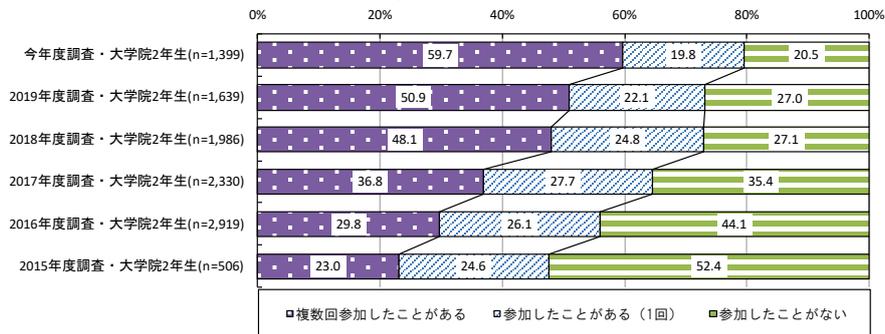
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

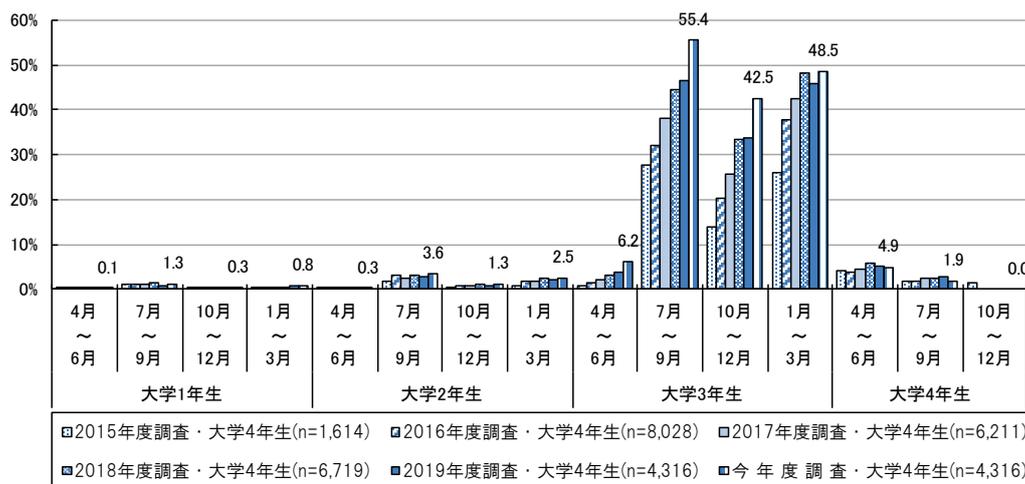


(注) インターンシップに関する設問については、2016年度～今年度の調査では「就職活動を行った (終えた)」「就職活動を行っている (継続している)」「これから就職活動を行う予定である」のいずれかを回答した者を集計対象とし、「就職活動を行わなかった (行う予定はない)」と回答した者は対象外としている。2015年度調査については「就職活動を行った」と回答した者を集計対象とし、「就職活動を行わなかった」と回答した者は対象外としている。

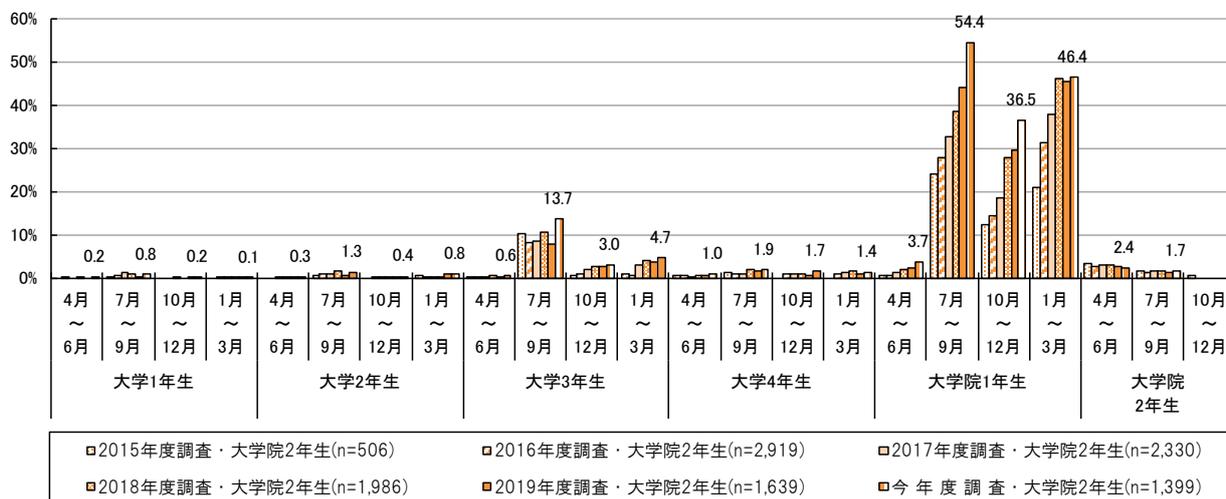
インターンシップ参加時期

インターンシップ参加の時期について、大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」と「1月～3月」の回答割合が5～6割と高くなっている。過年度と比較すると、今年度は大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」「10月～12月」「1月～3月」の回答割合が上昇している。

(大学4年生)



(大学院2年生)



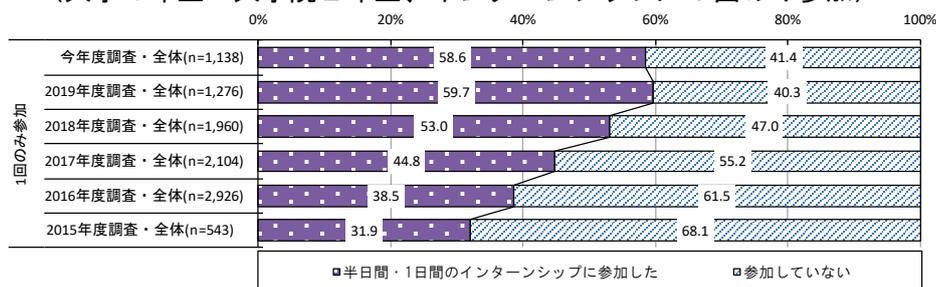
(注) 複数回答により参加時期を回答する設問で、回答割合を算出するにあたり、集計対象にインターンシップに参加したことがない者も含んでいる。

半日間又は1日間のインターンシップの参加状況

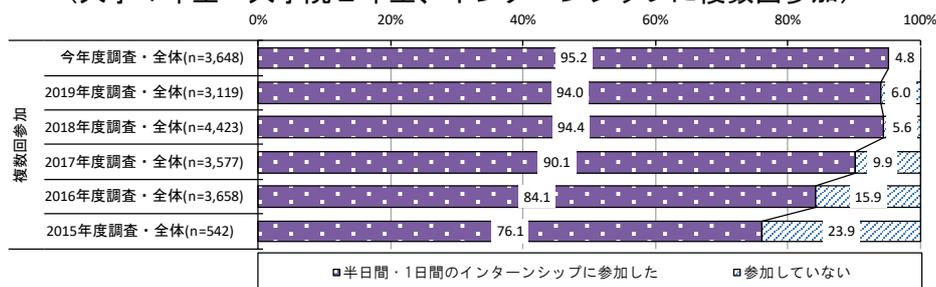
半日間又は1日間のインターンシップへの参加について、インターンシップに1回のみ参加した者では約6割、複数回参加した者では9割以上が参加しており、2019年度と比べると、1回のみ参加した者では若干低下、複数回参加した者では若干上昇している。

また、全てのインターンシップ参加の機会のうち、半日間又は1日間のインターンシップが占める割合は約8割であり、過年度と比べてこの割合は上昇している。

半日間・1日間のインターンシップの参加の有無
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



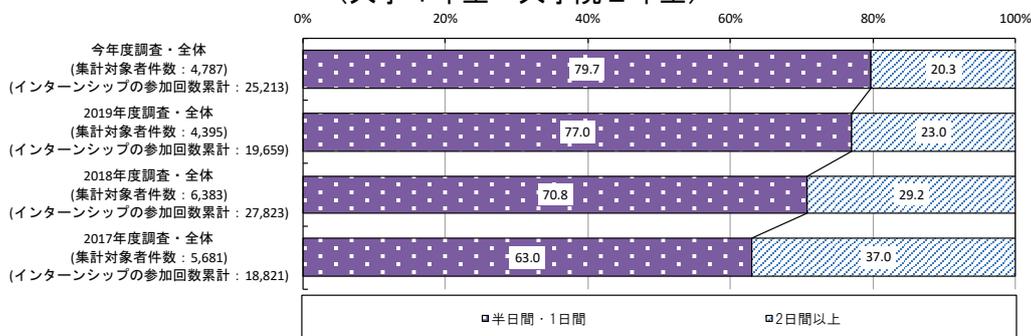
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに複数回参加)



(注1) 2015年度～2018年度の調査では参加したインターンシップの最短の日数を1日単位の数字で回答されたものから1日間のインターンシップの参加の有無について判断し、集計をした。2019年度・今年度調査ではあらかじめ選択肢を設定し、参加したことがある日数の回答について集計をした。「半日」の分類は今年度調査についてのみ把握・集計を行うことができるものとなっている。

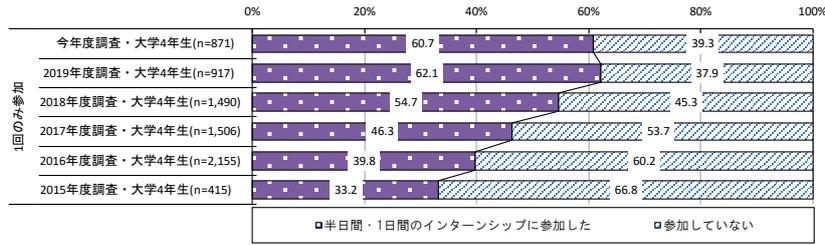
参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップの参加回数累計による集計)

(大学4年生・大学院2年生)

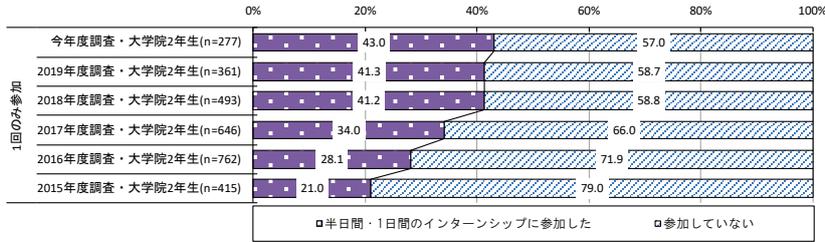


(注2) 2015年度・2016年度は当該設問について調査を実施していない。

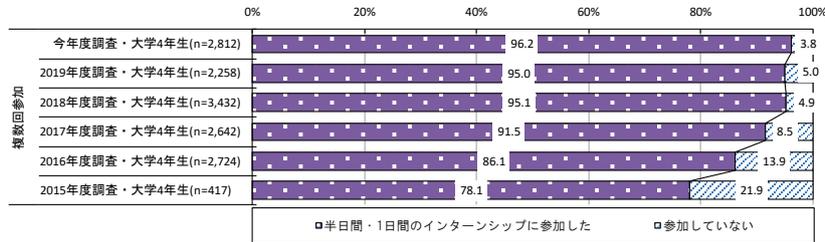
半日間・1日間のインターンシップの参加の有無 (大学4年生、インターンシップに1回のみ参加)



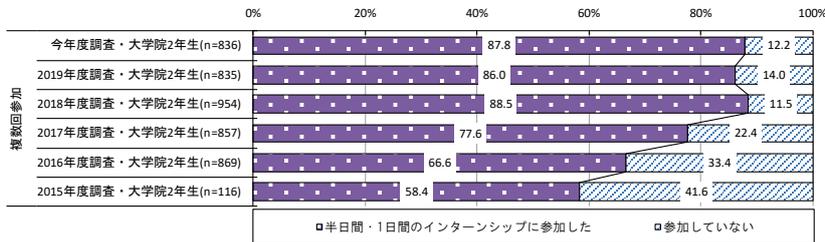
(大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生、インターンシップに複数回参加)

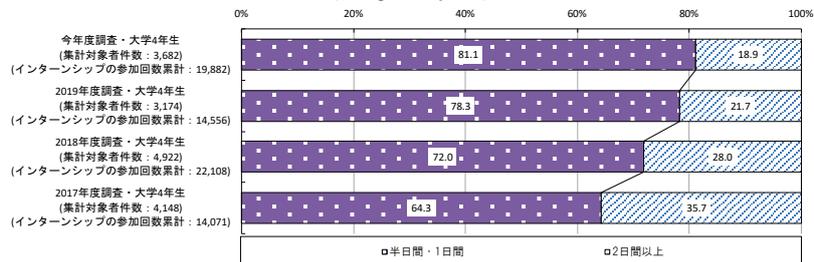


(大学院2年生、インターンシップに複数回参加)

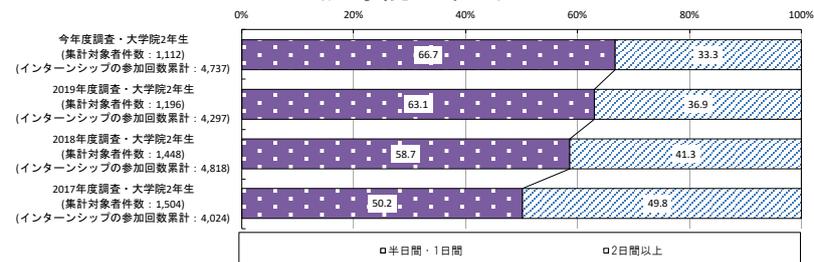


参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップの参加回数累計による集計)

(大学4年生)



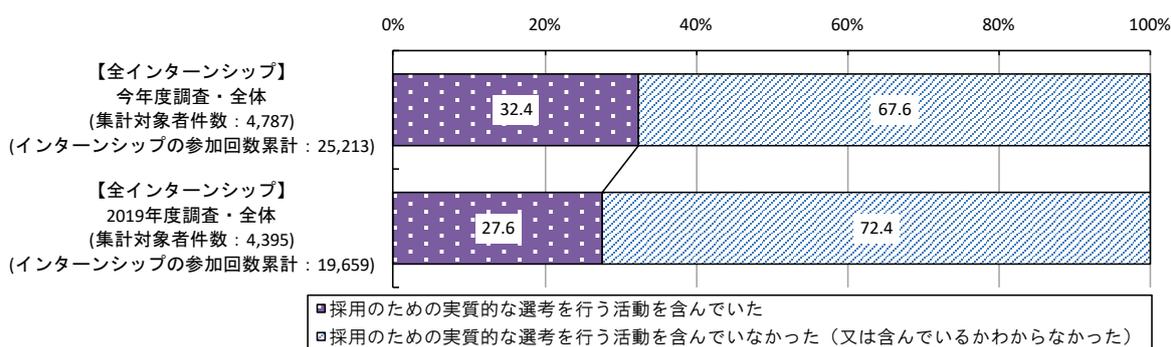
(大学院2年生)



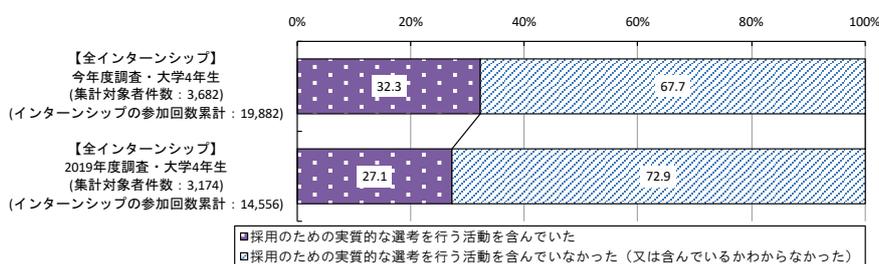
インターンシップにおける実質的な選考実施の有無

参加したインターンシップが採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいたかについて、約3割が「実質的な選考を行う活動を含んでいた」と回答している。2019年度と比べると、この割合は若干上昇している。

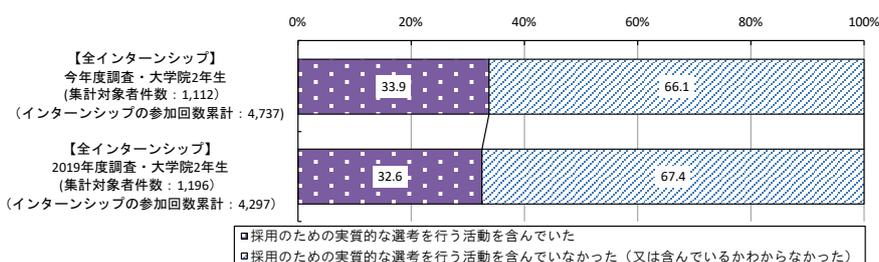
インターンシップにおける実質的な選考実施の有無
(参加したインターンシップの回数累計による集計)
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



(注1) 2015年度～2018年度の調査では当該設問について調査を実施していない。

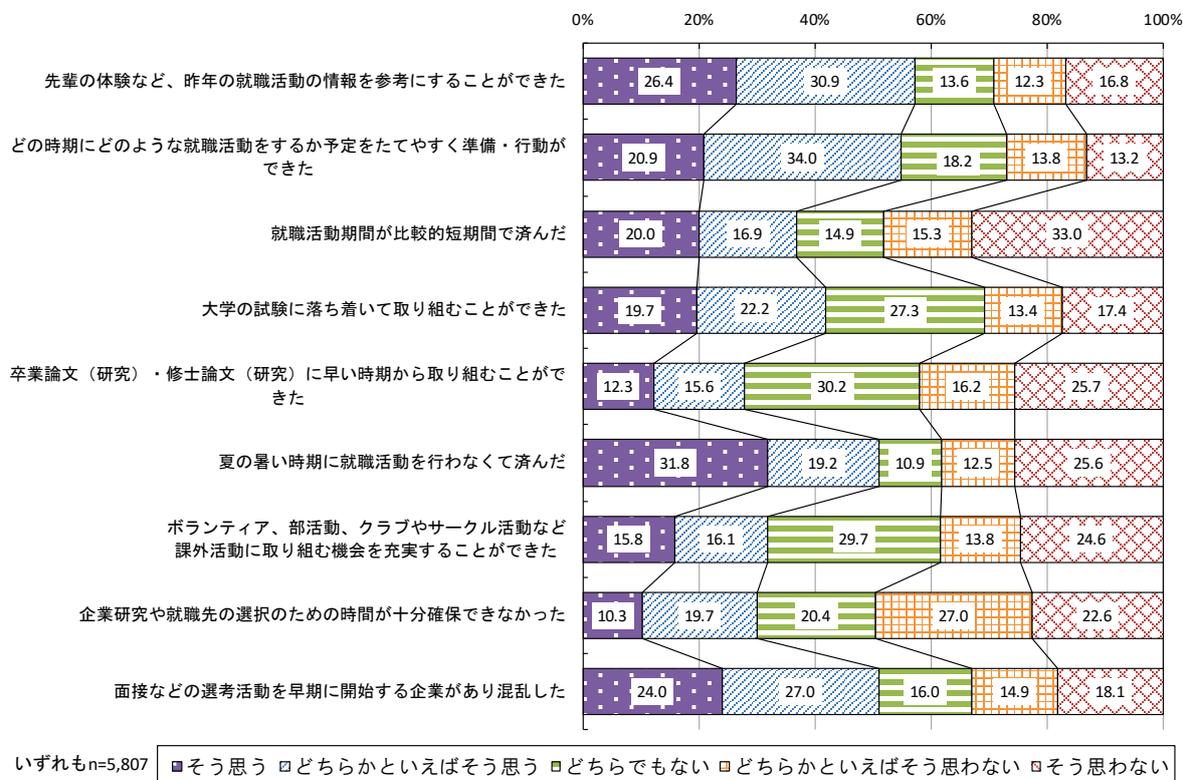
(注2) 「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップの参加が採用面接を受けるための必須条件になっていたり、インターンシップの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。また、終了後にインターンシップ参加者だけの説明会に呼ばれたという場合等も含むよう案内をした。

就職活動時期に関する認識

就職活動時期が昨年度と同様の時期（広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降）に設定されたことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」では「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」との回答割合が約6割、「予定をたてやすく準備・行動ができた」、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」では約5割となっている。

調査項目	大学4年生・大学院2年生全体の回答	
	「そう思う」＋ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」＋ 「どちらかといえばそう思わない」
昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	57.3%	29.1%
予定をたてやすく準備・行動ができた	54.8%	27.0%
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	36.9%	48.3%
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	51.0%	38.1%
選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	51.0%	33.0%

（大学4年生・大学院2年生）



（注）四捨五入により、複数の選択肢の回答を合わせた結果について、グラフに掲載した個々の選択肢の回答割合を足し合わせたものと小数点以下第1位の値が一致しない場合がある。